

まつしま

議会だより

第165号

令和8年2月1日発行
宮城県松島町議会



新体制スタート 皆さまの声を町政に

- ◇ 議会の新体制がスタート P 2
- ◇ 議案審議 P 4
- ◇ 7人の議員が熱弁（一般質問） P 8
- ◇ 町民の声 P16

令和7年
第4回 定例会
[12月15日~12月19日]

新体制スタート!

松島町議会議員一般選挙後の初議会として、令和7年第4回松島町議会定例会が、12月15日から19日まで5日間の日程で開催され、議長に高橋利典議員、副議長に高橋幸彦議員を選出したほか、各常任委員会が構成され、新しい体制をスタートしました。

一般質問では、7人の議員が説明を求めました。

本定例会では、議案41件(条例の一部改正、各種会計補正予算、人事案の同意等)が上程され、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。

議長からのごあいさつ

日頃より松島町議会に対する温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、先の定例会において、議員の皆様のご御推薦により、松島町議会第17代議長に就任いたしました。伝統ある松島町議会のまとも役として、大変光栄であると同時に、その責任の重さを痛感しております。議会は、民意を集約して団体意思を決定するという重要な役割を有しております。議長として、公正かつ円滑な議会運営に全力で取り組んでまいります。

さて、本町では少子高齢化対策など、課題が多くあります。また、国内に目を向けると、物価高騰や野生動物による人的被害の増加など、身近に迫る喫緊の課題が日々生じております。

目まぐるしく変化する社会情勢において、議会に求められる役割は重要度を増しております。日々の生活を豊かにし、安心して暮らすことができる町であり続けられるよう、町民の皆さまの声に耳を傾け、活発な議論を交わしてまいります。

開かれた議会として、皆さまの負託と信頼に応えられるよう、議員一同、努力してまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

松島町議会 議長 高橋 利典

議会運営委員会



円滑な議会運営のため、議会運営全般について協議し、意見調整を図る委員会

教育民生常任委員会



町民福祉課、健康長寿課、水道事業所、教育委員会の所管に属する事項を担当する委員会

総務経済常任委員会



総務課、企画調整課、財務課、産業観光課、建設課、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項を担当する委員会

令和7年 第4回 定例会 提出議案 (12月議会)

議案第64号 松島町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
児童福祉法の一部改正による条例の制定

議案第65号 松島町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
乳児等のための支援給付が制度化されることに伴う支援事業の基準を定める条例の制定

議案第66号 職員の給与に関する条例の一部改正について
人事院勧告を踏まえた一般職の職員の給与等に関する所要の改正

議案第67号 松島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
人事院勧告を踏まえた会計年度任用職員の給与等に関する所要の改正

議案第68号 松島町長等の給与に関する条例の一部改正について
人事院勧告を踏まえた特別職の期末手当に関する所要の改正

議案第69号 松島町町税条例及び松島町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
公示送達の方法にインターネットを使用する改正

議案第70号 松島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
家庭的保育事業等における保育士の配置基準等を見直す改正

議案第71号 集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
集会施設4施設を廃止する改正

議案第72号 松島町避難施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
上竹谷避難所を避難施設等に加える改正等

議案第73号～議案第91号 指定管理者の指定について
別表1の通り指定管理者を指定する

議案第92号 宮城県市町村職員退職手当組合理約の変更について
組合役員等に報酬を支給するための議決

議案第93号 令和7年度松島町一般会計補正予算(第4号)
ふるさと納税寄附額増額を見込んだ委託料等についての補正

議案第94号 令和7年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
人事院勧告を踏まえた人件費等の補正

議案第95号 令和7年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
後期高齢者医療保険基盤安定負担金の確定に伴う補正

議案第96号 令和7年度松島町介護保険特別会計補正予算(第3号)
人事院勧告を踏まえた人件費等の補正

議案第97号 令和7年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)
人事院勧告を踏まえた人件費等の補正

議案第98号 令和7年度松島町水道事業会計補正予算(第3号)
人事院勧告を踏まえた人件費等の補正

議案第99号 令和7年度松島町下水道事業会計補正予算(第2号)
人事院勧告を踏まえた人件費等の補正

議案第100号 松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
小澤晴司氏を教育委員会委員に任命することの同意

議案第101号 松島町監査委員の選任につき同意を求めることについて
米川修司氏を監査委員に任命することの同意

議案第102号 令和7年度松島町一般会計補正予算(第5号)
生活者や事業者に対する支援を目的とした事業費等を補正

議案第103号 令和7年度松島町水道事業会計補正予算(第4号)
水道料金を減免する補正

議員提案第4号 松島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
人事院勧告を踏まえた議員の期末手当に関する所要の改正

別表1

施設等名称	指定する団体
松島運動公園多目的運動広場等	NPO法人マリソル松島スポーツクラブ
松島運動公園温水プール	セントラルスポーツ(株)
北小泉・下竹谷地区 コミュニティセンター	北小泉・下竹谷地区 コミュニティ推進協議会
垣ノ内集会場	松島区
高城コミュニティセンター	高城区
本郷ふれあいセンター	本郷区
華園集会場	磯崎区
左坂支館	手樽区
上竹谷生活センター	上竹谷区
根廻分館	根廻区
初原コミュニティセンター	初原区
上初原支館	初原区
桜渡戸分館	桜渡戸区
三浦墓地	松島町営三浦墓地管理組合
古浦墓地	松島町営古浦墓地管理組合
松島防災センター	松島区
三十刈避難所	松島区
婦命院避難所	本郷区
白萩避難所	磯崎区
長田避難所	磯崎区
磯崎避難所	磯崎区
手樽防災センター	手樽区
古浦避難所	手樽区
三浦避難所	手樽区
名籠避難所	手樽区

提出議案

議案採決結果表

表の見方

①採決結果：賛成全員(可決または採択) → 全
賛成多数(可決または採択) → 多
賛成少数(否決または不採択) → 否

②各議員の表決：賛成 → ○ 反対 → ×
③その他：欠席 → 欠
退席(除斥を含む) → 退
議長 → 議

令和7年第4回定例会

【賛成全員】

議案番号	議決日
議案第64号-73号	12月18日
議案第75号-99号	
議員提案第4号	12月19日
議案第102号-103号	

【同意】

議案番号	議決日
議案第100号	12月15日
議案第101号	12月18日

【賛成多数】

議案番号	議案名	議決月日	熊谷拓郎	本田翔也	桜井ていこ	中西隆二	菅野隆	米川修司	井上浩	櫻井靖	安部孝	赤間幸夫	色川晴夫	片山正弘	高橋幸彦	高橋利典	賛成	反対
議提第74号	指定管理者の指定について 【松島運動公園：温水プール】	12月18日	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議	10	3

議案 審議

町民一人ひとりに 家計応援商品券1万円分を配布へ

松島町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

質疑

赤間幸夫議員 条例制定により、既存の保育所や認定こども園の基準や運営に影響は生じないのか。

町民福祉課長 本条例は「子ども誰でも通園制度」に対応する新事業の基準を定めるもので、既存施設の基準変更はない。

櫻井靖議員 虐待防止や人権配慮の観点から、保育室内へのカメラ設置などの対応は検討しているか。

町民福祉課長 高城保育所では出入口などに防犯カメラを設置しており、全室設置の義務はないが、安全確保を最優先に必要な体制を整えている。

安部孝議員 想定される利用人数や利用時間、保護者負担額、また、待機児童の現状と今後の対応は。

町民福祉課長 対象児童は約十人程度を想定し、午前中二時間程度の利用、保護者負担は一時間300円を予定している。待機児童は約十一人お

り、幼保再編を含め、受入れ体制の整備を進めていく。

色川晴夫議員 幼稚園・保育所の再編や施設整備の検討状況、今後のスケジュール感は。

町民福祉課長 作業部会を設置し、適地選定や規模の検討を進めている。できるだけ早く方向性を示せるよう取り組んでいく。

熊谷拓郎議員 制度の安全性と質を担保するため、職員研修の内容や頻度、その成果をどのように確認しているか。また、その成果の公表は。

町民福祉課長 毎年度、計画的に研修を実施し、安全対策や子どもとの関わり方について学んでいる。研修後は共有や振り返りを行い、臨床心理士の助言も活用しながら保育の質向上に努めている。情報公開については今後検討する。

職員の給与に関する条例の一部改正について

質疑

色川晴夫議員 通勤用車両の駐車場代について、本庁舎に通勤する職員は自己負担しているが、出先機関に通勤する

職員の負担状況は。また、研究休職について、本町ではどのようなものを想定しているか。

総務課長 出先機関に通勤する職員は駐車場代の負担が生じないが、月5千円を上限とする通勤手当を新設することで公平性が確保される見通しである。また、研究休職に該当する職務は現在想定していない。なお、今後議案を提出する予定である。

片山正弘議員 通勤手当支給の根拠となる通勤ルートについて、このルートから外れて通勤しても公務災害が適用されるのか。

総務課長 適用されないのが原則だが、どうしても所定のルートで通勤できない場合は、町が個別に対応する。

井上浩議員 通勤手当の算定について、職員が通勤経路を書面で提出しているようだが、総務課がインターネットが最短距離を把握しないのか。

総務課長 町内であれば書面が無くてもある程度把握できるが、町外は主要な道路を使わないルートだと最短距離がよく分からないため、まずは

自己申告してもらい違和感がある場合のみ確認するようにしている。

※その他、赤間幸夫議員より質疑があった。

松島町町税条例及び松島町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

質疑

米川修司議員 公示送達について、インターネットを用いて行う方法を加えることにより、町はどのような利用状況を想定しているか。

財務課長 掲示場での書面の掲示よりも、インターネットによる公表の方が、相手先の目に入る機会が増えると思込んでいる。

櫻井靖議員 インターネットによる公表に関しては、どのように見やすく表示するのか。

財務課長 町のホームページ上で公示送達の項目を新たに設ける予定である。

松島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

質疑

桜井ついで議員 地域限定保育制度について、小規模保育にA型B型等があるが、松島町はどの型を想定しているのか。

町民福祉課長

A型B型は小規模保育事業の区分で町内には該当する小規模保育事業所は存在しない。高城保育所や認定こども園めぶきの森は、それぞれ別の法律で基準が定められている。

市町村条例で基準を定めるのは、家庭的保育・事業所内保育などの地域型保育事業のみである。

集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

質疑

赤間幸夫議員 4つの集会施設が廃止されるとのことだが、解体後の土地利用はどうするのか。

総務課長

1つは民有地なの

で返還する。残り3施設は用途は未定である。

安部孝議員

上竹谷生活センターについて、地域住民はコミュニティ施設として残してほしいという声強い。高齢者が多く、新しい避難所まで行くのが難しいという声があるが、廃止・解体を急がず、慎重に対応すべきではないか。

総務課長

上竹谷生活センターは現時点では廃止の方向である。ただし、地域で自主運営する形も選択肢であり、地域と協議しながら最終判断する。

※その他、中西傳議員・井上浩議員より質問があった。

松島町避難施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について

質疑

米川修司議員 避難所名を「帰命院避難所」から「小梨屋避難所」に変更する理由は何か。

危機管理監

「帰命院避難所」は、地域名である帰命院下地区に由来して名づけられたが、寺院の「帰命院」もあり、避

難所名と混同されやすかったため、地域とも相談し、「小梨屋避難所」に変更することにした。

指定管理者の指定

質疑

安部孝議員 運動公園の指定管理について、過去5年と今後5年の事業計画を比較して何が変わったのか。

教育次長兼課長

スクールのあり方については過去5年間と変わっていないが、松島中学校のサッカー部等の地域展開の受皿になっている。

櫻井靖議員 温水プールを維持するのに多額の経費がかかっている。10月から5月までの利用者が少ないが、利用率をもっと上げられないか。

教育次長兼課長

新しい取り組みがなされており、町としても積極的にバックアップして利用率向上に努める。

安部孝議員 費用対効果を考えた場合、温水プールは我が町で本当に必要なのか。

町長

費用対効果という考え方もあるが、我が町の温水プー

ルは、濾過機を設置しており、東日本大震災の時、町民の生活用水に使用した。また、松島中学校のプール授業として教育の一環に使用している。
※安部孝議員より継続審査の動議が出されたが、動議は否決された。



温水プール美遊

赤間幸夫議員 指定管理者とのヒアリング状況はどうなっているのか。

総務課長

毎年度、各区の実績報告を確認し、光熱水費などの物価高騰等を相談している。

中西傳議員 指定管理料に、各施設での不公平感は生まれてないか。

総務課長

指定管理料は、上下水道の基本料金から、NHKの受信料まで全て平等に算定して公平を確保している。

菅野隆一議員 指定管理が地域の負担増につながっていないか。

総務課長

話合いをした結果なので納得してもらっていると理解している。

色川晴夫議員 建物自体の修繕等で各区の管理者から要望は出てないか。

総務課長

躯体など大きな補修は町で行うが、2万円未満の軽微な補修は指定管理者にお願いしている。

赤間幸夫議員 町営墓地の指定管理に關した検討経過に変化はあるか。

総務課長

今後、町営墓地をどこかにつくるとか、地域の墓地を公営化する計画はない。

補正予算

令和7年度一般会計補正予算(第4号)

質疑

○担い手確保経営強化支援事業 572万1000円

高橋幸彦議員 農業機械の乾田直播に使うものなのか。補助率はいくらか。また、当初予算に要求はあったのか。

産業観光課長 乾田直播に使用する。補助率は10分の3である。国の募集が7月から8月にかけてあり年度内での購入が予定されていた。

中西傳議員 今回のこの事業はどんな支援事業なのか。

産業観光課長 この事業は令和6年度の補正繰越分であり、地域農業構造転換支援対策である。

赤間幸夫議員 この事業について農業法人や認定農業者への周知方法は。また、情報提供のあり方は。

産業観光課長 平等公平の立

場から農協などへも伝えたが、一社のみ申請になった。農業を行う方々に農協と連携し情報提供を行いたい。

○ふるさと納税 2,000万円の増額

菅野隆一議員 寄附額増額の要因は何か。

財務課長 令和7年度の米の申し込みが増加したこと、ポータルサイトのポイント付加事業の廃止に伴うものと考ええる。ポータルサイトを昨年より一つ増やしたことも関係する。

○定住促進事業補助金 350万円の増額

米川修司議員 補助を希望する町民がもっといたのではないか。ホームページの記載方法を考えるべきと思うがどうか。

企画調整課長 補正で柔軟に対応した。今後、周知やホームページについて工夫する。

○保健福祉センター管理費 240万円の増額

菅野隆一議員 燃料費と光熱水費増額の原因は。

健康長寿課長 福祉センターの改修に伴う風呂の水道量の増加によるものである。現在は調整して正常に機能している。

令和7年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

質疑

本田翔也議員 一般介護予防事業費の主な使い道は。

健康長寿課長 高齢者が利用する松島元気塾に事業費として充てている。

令和7年度一般会計補正予算(第5号)

質疑

○家計応援商品券配布事業 1億4,080万円

菅野隆一議員 今回の家計応援商品券配布事業が商品券になった経緯は。また、商品券には事業費がより多くかかる。現金給付は検討したのか。

産業観光課長 デジタル弱者、高齢者のことを考えると商品券の方がよいと考える。

また、現金だと町内の地域活性化としては厳しいものがあり使わない人もいる。松島には商店、事業所が多数あるので、商品券の提案となった。

櫻井靖議員 家計応援商品券は世帯ごとに届くのか。

産業観光課長 世帯主に対して世帯構成員分が送られる。

熊谷拓郎議員 過去の商品券の費用負担は。

産業観光課長 費用負担については国の交付金と町の一般財源になっている。

桜井ていこ議員 飲食店でも使えるのか。

産業観光課長 飲食店、食堂、ガソリンスタンド等でも使える。

○令和7年度物価高対応子育て応援手当事業 2,882万5千円

米川修司議員 子育て応援手当事業の委託料の内容は。

町民福祉課長 現金給付管理システムの改修として、44万円の委託料を予算計上した。

令和7年度水道事業会計補正予算(第4号)

質疑

菅野隆一議員 国からの補助金の流れは。

水道事業所長 交付金は一旦町の一般会計に入ったのち、減免分が水道事業会計に支出される。

人事案件

松島町教育委員会委員

(再任)

小澤晴司氏 (磯崎区)

松島町監査委員

米川修司氏 (本郷区)



菅野隆二 議員

問

町民の声を活かしたまちづくりをどのように進めていくのか

答

待つのではなく町の側から出向く姿勢で積極的に町民の声を聞く

問 町議会議員選挙の投票率53・28%を、町としてどう評価し、どのように課題認識しているか。

選挙管理委員会事務局長 60%台を維持してきた中で大きく低下し、初めて50%前半となったことは重く受け止めており、今後の検討課題と認識している。

問 町として今回の投票率低下をどう見ているか。

町長 期日前投票の出足が前回より低いと聞き、広報車で呼びかけを強化したが下がった。選挙形態が変化している可能性もあるため今後、分析し研究したい。

問 年代別投票率を把握しているか。

選挙管理委員会事務局長 大まかな傾向は把握している。県の公表している年齢階層別投票率のデータとほぼ同じである。いずれ公表したい。

問 過去推移をどう見ているか。なぜ下がっているのか。

選挙管理委員会事務局長 中長期でも直近でも低下傾向が明確である。若年層への啓発、期日前投票の周知など環境整備が必要と考えている。



一般質問

問 高齢化が投票行動・意思決定に与える影響をどう認識しているか。また、将来どう変化すると見るか。

町長 高齢層は投票参加率が高く投票率を支えてきた。一方で高齢者割合が高まるほど投票箱の票構成も高齢層に偏りやすく、若年層・子育て世代の意見が見えにくくなる恐れがある。

問 若年層・子育て世代の政治参加低迷が町にもたらす影響は。

町長 将来を担う世代の意思が反映されず、長期的視点の施策立案が難しくなる。策定中の次期長期総合計画では、若年層・子育て世帯を委員に選任し、意見を取り入れている。

問 駅やスーパーなどに投票所設置の考えは。

選挙管理委員会事務局長 過去に検討し、システム等で高額になり断念した経緯がある。今回の結果を踏まえて改めて検討したい。

問 町民の声を活かしたまちづくりをどのように進めるのか。

町長 積極的に取り組む。各団体の声を聞き、子どもタウンミーティングも継続する。待つのではなく町の側から出向く姿勢で積極的に町民の声を聞きに行く。

問 若者・子育て世代の声をすくい上げるような仕組みを検討するべきではないか。

町長 県内各市町村も同じ課題を抱えている。市町村間で意思疎通しつつ、意見を行政に反映できる仕組みを検討していきたい。





さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 ご近所トラブル解決に向けて

答 個人情報取り扱いに配慮し、町が仲介役となり早期解決につなげる

問 隣接する崖より敷地内等に落石や倒木があり、今後、人家に被害を及ぼす可能性がある場合、町は該当する土地所有者に対してその旨の事情を伝えるなり、土地所有者の連絡先を相談者に教えてもらえるのか。

町長 個人と個人とのトラブルは、民事不介入の原則により町は積極的には関わらないが、隣の土地の所有者が分からない時は、個人情報の取り扱いに十分に配慮し、町が仲介役となって問題の早期解決につなげている。



落石した岩

問 自宅近くの連絡先が分からない土地の柿の木に熊があらわれたので、柿の木の倒木処理を行いたい。町としての対応は。

産業観光課長 所有者が不明であっても土地や樹木には所有権があるため無断で伐採はできない。果実の除去や枝払いの実施、幹にトタンなどをまいて熊が登りにくくする等の対策をしていく。

問 隣の敷地に太陽光パネルが設置されたが、管理不十分で雑草が伸び放題であったり、防草シートに雨水がたまり悪臭を放っている。町としての対応は。

町長 管理は土地所有者や事業者が責任を持つて行うものだが、環境の改善に向けて、文書等によって連絡をしている。

また、電源がショートして枯れ草に引火し火災が発生する恐れもあるので町としても、監視していきたい。

問

松島町制施行100周年、今後の松島100年を考える

答

令和8年度を周知期間、令和9年度を実施期間としていく

問 令和10年1月1日、松島町は町制施行100周年を迎える。町長が考える町制100年事業の在り方についての考え方は。

町長 町制施行100周年は大きな節目である。これまでの歩みを振り返るとともに、次の100年に向けた将来像を町民の皆様と共有する重要な機会である。しっかりと準備計画を立てて行っていかなくてはならないと考えている。

問 どのようなスケジュールで進めていくのか。

町長 式典については令和10年1月から2月頃行うこととし、令和8年度を周知期間、令和9年度を記念事業の実施期間と考えている。

また、令和8年度に周知事業として、ロゴマーク等の募集を行いたい。

問 町民から企画を公募する考えはないか。

町長 今は企画等を公募する予定はないが、決定したロゴマークを自由に使用できるようにする。様々なイベントで活用し100周年を盛り上げてもらいたい。



松島町町章



ほんだしょうや
本田翔也 議員

問 高城町駅前の路上駐車対策は

答 駅前の路上駐車は事故を誘発するおそれがあると認識している

問 高城町駅前における路上駐車について、住民等から困っているとの声が寄せられている。町として現在の対応、また、今後の対策についてどのように考えているか。

建設課長 住民からの相談も寄せられているが、駐車禁止区域がないため、利用者のモラルに依る部分が大きいのが現状である。町道については、路上駐車抑制や車両待機場所の利用を促す看板設置を検討し、今後、県や警察と連携して対策を進めていく。



高城町駅前の様子

一般質問

問

町の財政状況をどのように捉えているのか

答

財政状況は災害時を考えると、決して余裕があるわけではない

問 松島町の予算約67億円のうち、財政調整基金から約2億4,000万円が計上されている。これはいわば町の貯金を取り崩している状況と考えられるが、現時点での財政調整基金残高はどの程度となっているか。

町長 財政調整基金は、財源の不均衡を調整するための町の貯金であり、年度ごとに積立てと取り崩しを行いながら運用している。残高は現在6億386万2,000円となっている。

問 一般的に財政調整基金残高は、標準財政規模の約10%が目安とされているが、松島町はこの基準を満たしているのか。また、松島町の標準財政規模はどの程度なのか。

財務課長 令和6年度決算統計による松島町の標準財政規模は約4億9,000万円であり、その10%に当たる約4億円の基準を満たしている。しかし、災害時には一度に数億円規模の支出が生じる可能性があり、これを上回る残高が確保されていないければ、財政状況は厳しいと考えられる。

その他、次の質問をした。
・高城町商店街の車道脇のポールについて
・補助事業について



よね かわ しゅう じ
米川修司 議員

問 歳入の増加に向けて、今後どう取り組んでいくのか

答 事務事業を見直しつつ、支出を引き締めながら運営することが基本と考える

問 ふるさと納税について、今後も納税額を増やすには選択と集中を戦略的に進める必要性を感じる。町はこれから具体的な対策をどのように講じる考えであるか。

財務課長 日常生活に必要なかつ安価で量産できる返礼品を加えたいが、

本町の特性を生かすと農海産物、コト消費及び現地決済型(旅先納税)が主力となる。

なお、返礼品の新規開発等に対するふるさと納税支援補助金については、先例自治体をもとに調査研究を行う。

問 企業版ふるさと納税について、もっとも重要なのは企業が我が町へ支出する大義名分を創ることである。町は現状をどのように認識し、目標達成に向けてどのように議論し、これからのように対策を講じる考えであるか。

町長 特に子育てについては、子どもが伸び伸びと遊べる場所づくりを主要プロジェクトに掲げ、

企業がまちづくりに参加する機能を高めており、新たな主要事業を継続して創出していく。

なお、人材派遣型や逆公募型プロポーザルの導入については、情報収集に努めながら柔軟に対応していく。

問 自治体広告について、すでに広告を掲載している媒体に加えて、ネーミングライツを含め、あらゆる広告媒体を検討する余地があると感じるが、町はどのように考えているか。

町長 町内の施設は県の管轄が少なくないが、たとえば三十列駐車場や手樽海浜公園等はネーミングライツの導入を検討する余地がある。

なお、今後も民間提案型の公募方式も視野に入れながら、施設の維持管理コストを減らすよう検討する。

問 保有財産の有効活用について、未利用地に関しては貸付けや売却を今後どのように進める方針であるか。

財務課長 町有地のうち利活用が可能な未利用地は7か所と把握しているが、貸付けについては申請に対して良好な管理をお願いし、売却については松島町空き家バンク事業に関する協定を締結している。

なお、土地のセール&リースバック方式については、先進事例があれば調査研究していく。

問 歳入を増やす手法は他にもあるが、町はどのような視点に立って取り組む考えであるか。

町長 公共施設の使用料等の見直しを今後も進めるとともに、視察の有料化や基金の活用といったことも検討していく。

また、法定外税として県が導入した宿泊税については、その用途について県及び関係諸団体としっかり協議していく。



三十列駐車場





なかにしひろし 中西 議員

一般質問

問

国道45号「松島海岸地区」「愛宕地区」の歩道整備が一向に進まないがどのように考えているのか

答

国と協議しながら、できるところから早期整備を目指す

問 用地買収が進まない中、どのように交渉しているのか。また、垣ノ内地区は見通しが立ったのか。

町長 この区間は、平成19年度から歩道整備事業に着手し、国と町で用地買収を進めてきた。しかし、一部地権者との交渉がまとまらず事業が長期化している。

問 松島海岸地区（ファミリーマートから松島駅前）の歩道整備について20年ほど整備が進んでいない理由は。

建設課長 国が主体だが、町も地域事情を踏まえて協力しており、地権者との交渉環境は改善しつつある。今後も粘り強く交渉していく。

問 松島第一小学校前の歩道は用地買収が完了している。歩道橋工事を先に進められないか。

建設課長 歩道橋の高さ基準の変更（4.8メートルから5.0メートル）により、学校側への影響が整理できれば歩道整備より先に歩道橋工事を進められる可能性がある。国と協議しながら早期整備を目指す。

問 区間に仙石線のガード（高さ4.3メートル）があるが、これも見直しがあるのか。

建設課長 第一小学校前歩道橋のみ5.0メートル基準で整備し、仙石線ガードは対象外である。

問 愛宕橋からコメリ間の歩道拡幅について、昔から計画があるのに進んでいない。通学路で事故も発生している。今後どうなるのか。

町長 平成5年から交差点改良に向け進めてきたが、用地買収が難航し工事が進んでいない。国も重要区間と認識しており、用地が確保できれば早期着手が可能である。町としても国と協力し地権者との交渉を続ける。



国道45号松島海岸地区



国道45号愛宕地区

問 手樽海浜公園の活性化についてどのように考えているのか

答 松島湾の景観を生かした穴場スポットとしての活用を検討していく

問 手樽海浜公園の活性化について、「第2の観光地」として整備されたが現在は閑散としている。今後の活性化をどう考えるか。

産業観光課長 かつてはバーベキューで賑わったが、ゴミ放置・残飯・ばや騒ぎ・かまど放置などの問題があった。今後は松島湾の景観を生かした穴場スポットとしての活用を検討する。



手樽海浜公園

問 活性化の具体案について、バーベキュー再開、パークゴルフ、ドッグラン、桜を植えて名所化、条例制定（指定管理者制度）、入場料・駐車料金徴収、ゴミ袋を有料で売る、クラウドファンディングで整備資金を集めるなどの案についてはどうか。

産業観光課長 今後の検討材料として幅広く取り入れていく。



あべ たかし
安部 孝 議員

問 松島イノベーションヒルズの開発促進に積極的支援を

答 取り付け道路などで調整を行い促進に取り組んでいく



松島イノベーションヒルズの造成工事が進む

問 松島町初原地区で行われている工業団地開発に町の積極的な支援と取り組みが必要である。現在の進捗状況はどうか。課題である道路の取り付けや水の供給などについての取り組みは。

町長 工業団地の進捗率は約43%である。道路の取り付けは大きな課題であり調整していききたい。大量の水が必要な企業にも対応できるように検討をしている。

問 松島北部地区ほ場整備事業の推進を図れ

答 県の計画受託調査の申込は令和13年度頃

問 耕地面積約124ha。町の最後のほ場整備になる。担い手や町の農業振興のためにも早急な取り組みが必要であり、町の姿勢が問われているがどうか。

町長 全国町村会などでも後継者不足を危惧している。松島の農業をどうするのかがこの北部地区にかかっている。農業に関わる人材を育てることに取り組んでいく。

問 町内の小中学校の再編統合の考えを伺う

答 いろいろな方から意見を聞き判断したい

問 町内の児童生徒数、今後の状況見通しは。

教育長 令和7年5月時点で小学生495人、中学生236人。5年前に比べ小学生34人、中学生35人が減少している。急がねばならないが、もう少し見守ってほしい。



松島小中学校等の生徒児童数が激減

問 議会議員の定数削減について町長の所見を伺う

答 まずは議会の中でよく議論して決めてほしい

問 わが町の議員14名、人口比900人に1名。隣の利府町16名、人口比2,200人に1名。七ヶ浜町14名、人口比1,200人に1名。身を切る改革が必要である。元町議会議員の町長の所見は。

町長 現状の人口規模で議員定数14人が極端に多いという認識はない。今後、人口動態や社会情勢等を踏まえ、必要に応じて議論していかなければならないと考えている。

その他、次の質問をした。
・町政への政治的姿勢について
・防災減災の対策強化について
・歳入確保対策について



くまがいたくろう
熊谷拓郎 議員

問 これからの町の子育て支援と教育の充実について

答 子どもが町づくりの鍵であると認識している

町民福祉課長 町では子ども家庭センターを中心に、発達に心配のある子どもや保護者への支援を実施している。臨床心理士による発達相談、親子参加型事業、保護者向けペアレントトレーニングなどに取り組み、参加者から高い評価を得ている。加えて、令和7年度

問 人口減少・少子化が進む中、松島町が将来にわたり活力を保つためには、子どもを産み育てたいと思える環境づくりが重要だ。これまで実施してきた子育て支援施策について、町としてのどのような成果があったと認識しているか。また、子育て世代の安心感や満足度について町の見解は。



親子参加型事業の様子

町民福祉課長 町としても周知不足は課題と認識している。子育て支援サイトの活用や情報発信の工夫を進め、町の取組をより分かりやすく伝えていきたい。

町民福祉課長 留守家庭児童学級の定員拡充や、公立幼稚園・保育所の再編による認定こども園化を進め、子育てしやすい環境整備に取り組んでいく。

問 多様な支援が行われている一方で、制度を十分に知らない子育て世代もいる。支援を利用しやすいするため、周知についてどのように工夫していくのか。



「こども国際観光科」の学習に取り組む子ども達

町長 子どもが町づくりの鍵であり、教育・子育て環境の充実が定住につながることを認識している。

教育長 英語教育は一定の成果を上げているが、中学校での学習課題は全国的傾向でもある。まずは学校現場での指導力向上と補充的指導を重視し、現時点で公営塾や通塾費用支援を行う考えはない。ただし、議員からの意見は校長会等で共有し、今後の検討につなげたい。

問 少子化が進む中、子育て世代の定住促進には、将来を見通せる安心感が重要である。留守家庭児童学級の充実や、幼保再編など、今後特に力を入れていく施策や方向性について、町の考えは。

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合

令和7年第3回定例会
令和7年10月24日(金)

議案の審査状況

・ 認定第1号から第4号まで令和6年度塩釜地区消防事務組合各種会計歳入歳出決算の認定

行政報告

①火災件数
管内 28件
(前年比7件減)

全員賛成・可決

②救急出場件数
管内 6,945件
(前年比18件増減)

・ 議案第12号 令和7年度塩釜地区消防事務組合一般会計補正予算(第1号)

全員賛成・可決

※以上、令和7年1月～8月

米川 修司議員
片山 正弘議員

③要介護認定審査判定数
管内 3,198件
審査会開催 108回

④障害支援区分判定件数
管内 118件
審査会開催数 10回

⑤塩釜斎場の利用実績
管内 1,087件
(前年比77件増)

※以上、令和7年4月～8月

宮城東部衛生処理組合

令和7年第3回定例会
令和7年10月27日(月)

議案の審査状況

①専決処分承認を求めることについて

行政報告

①ごみの搬入状況
2万2,552トン
(前年比1,038トン減)

②令和6年度宮城東部衛生処理組合会計歳入歳出決算の認定について

2万2,552トン

(前年比1,038トン減)

松島町分

原案のとおり認定

(前年比180トン減)

③令和7年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算(第1号)について

原案のとおり可決

②焼却灰、排ガス中の放射

性物質濃度及び埋立地浸

出水処理水、地下水、各

施設敷地空間放射線量の

測定結果は、いずれも目

安や基準の範囲内である。

※以上、令和7年4月～9月

赤間 幸夫議員
高橋 幸彦議員

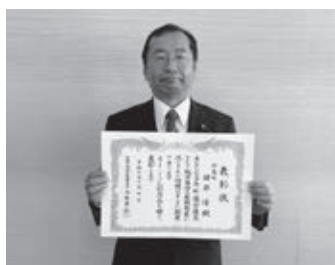
トピックス

表彰

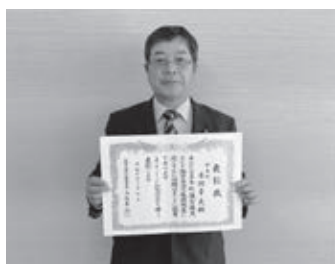


宮城黒川地方町村議会議長会自治功労者表彰

宮城黒川地方町村議会表彰式において櫻井靖議員並びに赤間幸夫議員が、自治功労者の表彰を受けました。両議員は11年以上在職し、地方自治の発展に尽力された功績が認められました。



櫻井靖議員



赤間幸夫議員



片山正弘議員

都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状
都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式において片山正弘議員が、35年以上在職し、地方自治行政への貢献が認められ、感謝状を贈呈されました。

令和8年

第1回 定例会

3月3日(火)

開会予定

- ▶ 傍聴は役場庁舎1階の「町民の部屋」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

議会情報はここからどうぞ

松島町議会
ホームページ

こちらから



まつしま議会だより
バックナンバー

こちらから



広報広聴常任委員会広報分科会

(櫻井 靖)

また、「議会だより」も議会でのような議論が行われたのかをわかりやすく、丁寧にお届けできるよう努めてまいります。ぜひ、これからの議会に期待していただき、見守っていただければ幸いです。



町民インタビュー

今回は、松島町議会議員として7期28年間奉職された阿部幸夫さんです。

前松島町議会議員

あ べ ゆ き お
阿 部 幸 夫 さん



議員をしていて一番印象に残っていることを教えてください。

一般質問をしたことが解決出来たこと。職員の方々に大変感謝している。

議員を辞められて、これからやりたいことは何ですか。

議員をしている間は、家族に大変プレッシャーをかけずまなかった。妻と二人で沖縄に旅行に行きたいと思っている。

これからの議会に必要と思うことを教えてください。

過去にとらわれることなく議会改革を行って欲しい。議会改革に終わりはない。

編集後記

11月の末に松島町議会選挙が行われ、新たに14名の議員が選ばれました。5名の議員が入れ替り、30代から80代までの各世代、1期目から10期目までの議員がいて、大変バランスの取れた議会構成となり、初議会から終了予定時間をオーバーするほど活発な議論が行われました。これからも各世代の声や地域の声を議会に反映させ、ベテランの経験値と若い人たちの新しい考えをバランス良くまとめながら進めてまいりたいと考えております。